



文化・経済フォーラム滋賀
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす第16号(2012年6月7日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋

文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第16号

最初に頭を下げなければなりません。先月のメルマガ発信は半年ぶりになって、「頭に手を乗せ、ゴメンチャイです」と書いておいたら、本当に謝らないといけない結果になりました。「文化deけいざい 経済deぶんか」ニュース&にゅーす第15号は、会員さまのアドレスを明示しての斉送信になってしまいました。メール送信、Bccで発信しないといけないのに申し訳ありません。事務局一同、こういうことのないよう気を引き締めます。今一度、陳謝です。

お詫び兼ねて、半年ぶりから半月ぶりのメルマガです。来週14日は役員会があって、事業の詳細を詰めますが、それは決まったあとでご報告することにして、最近の新聞に載った会員さんの情報をお伝えします。県文化振興事業団は朝刊7紙を購読しています。朝、目を通しますが、休み明け、それも3連休ともなると、読むというか、見るというか、正直一苦勞です。どこをどう読むか、1面下のコラムから入って、1面、社会面、地方版です。今年は読み続けようと決意していた社説は、年始めから2月半ばまででした。毎日となると、ギブアップです。

どんな会員さんが紙面に載ったか、以下に並べてみました。見落としあると思いますが、大きな扱いで、気がついた分です。

岩根順子さん	中日新聞	6月4日県版	<湖国の魅力 本400冊に>
西村隆さん	中日新聞	6月5日県版	<湖国から復興考える 大津でシンポ>
成安造形大学	朝日新聞	6月3日県版	<キャンパスは体験型美術館>
森建司さん	産経新聞	5月31日県版	<経済小説を出版>
中田洋子さん	京都新聞	5月25日県版	<今秋のBIWAKOピエンナーレ>
中田洋子さん	朝日新聞	5月中旬県版7回連載	<育てる>

手元に切り抜いた記事はあります。もっと詳しく...という方がありましたら、FAXで送信させていただきます。どんな記事内容だったか、ざっとご紹介します。山吹色の着物の岩根さん、書棚を背景ににこやかに笑う写真が大きく写っていました。ご存知、彦根市のサ

ンライズ出版の社長さんです。中日新聞の連載「キラリ近江びと」に登場でした。お父さんの意思をついだ自費出版の展開から教養書シリーズ「淡海文庫」の刊行へ、400冊に及ぶ思い出が書いてありました。記事の結びは、岩根さん談話です。～文化情報を発信して地域の読者に役に立つことが、私の使命だと思っています」と。



西村隆さんは前びわ湖放送社長で、文化・経済フォーラム創立時の幹事さんです。現在は近江八幡商工会議所専務理事で、この新聞記事にありますNPO法人アスクネイチャー・ジャパンの役員をされています。先日、この記事にありますシンポジウムのチラシを持参して、お見えになりました。東日本大

震災からの復興を考えるシンポジウムを6月30日午後1時30分から大津市のコラボしが21で開催です。昨年12月から岩手、宮城、福島を巡回開催しており、地元の滋賀で仕上げのシンポジウム、沢山来て欲しいとのお話でした。即、申し込みました。宗教学者・山折哲雄さん、静岡県知事・川勝平太さん、同志社大の浜矩子教授が「日本の自殺、日本の覚悟」をテーマに討論します。参加料1,000円です。

こういう調子で書いていると、いくらでもなってしまうので、ちょっと短めにして、紹介を続けます。文化・経済フォーラムのスタッフ・エース、加藤賢治さんら成安造形大学の皆様には、何かとお世話になっていますが、キャンパス挙げての美術館が記事になっていました。森さんは長浜市の住宅資材メーカー「新江州」の会長さんです。同族企業の経営破たんなどを書いた経済小説で、岩根さんのサンライズ出版から出ています。どんな内容か興味があります。中田洋子さんは、昨年12月にびわ湖ホールであった文化経済サロンの講師さんです。そのおり、朝日新聞大津総局の松野さんも来られていて、その流れから7回もの連載記事になったようです。中田さんが近江八幡市で展開する現代アート、今秋は五個荘町へも進出して8会場開催です。京都新聞に内容が載っていました。

それと、ご報告が一つあります。しがぎん経済文化センター様から6月3日、びわ湖ホールで開催した<エフゲニ・ボジャノフ ピアノリサイタル>の招待券を預かり。会員の皆様に発送させていただきましたが、しが経文さんによりますと、この招待券で80人余りの皆様の来場があったそうです。会員さまの文化レベルの高さの証でしょうか。経文さんも大変、喜んでおられました。6月も初旬すぎて、梅雨入りが気になりました。通算16号、今年2度目のメルマガ発送、このあたりにします。次回はさらに早くーと思っております。